



マンスリーレポート report

report

■2007年11月のマンスリーNEWS

■コラム

■清掃キャンペーンが始まりました



年2回実施している自販機ピッカピッカキャンペーンが今月1日よりスタートしました。

今回の清掃の重点ポイントは表・裏の商品見本パネルと取り出し口です。

実は今年の春、清掃キャンペーンが出来ませんでした。なぜなら、その時期にちょうど当社の自販機管理新システム導入と重なってしまったからです。

行はずだった清掃キャンペーンが出来なくなってしまい、現在は汚れが多少目立つ状態にあります。そこで今回は自販機の命である、商品パネルをしっかり磨いていきます。

今後ともアークル自販機にご期待ください！！

←清掃済みシール（当社、自動販売機全台に張ります）

■コラム

■今秋のヒットコーヒーは金色!?

新商品の売れ筋2品です。

2品の共通点分かりますか？そうです、どちらもパッケージが金色なのです。

大変よく売れています。



D-1キリマンジャロ



ボス・贅微糖

実はサントリーの今秋のメインはボス・レジェンドでしたが贅沢微糖は完全にそれを凌いでいます。ダイドーのキリマンもデミタスと同等の売り上げに なってきました。

当社では両品とも、ホット・コールド両方のセットを急いでいます。

まだ飲まれていない方は是非お試しあれ！

■コラム

■売れるでしょうか？



サントリーウーロン茶

サントリーがルビシア（茶葉輸入）と共同で**330mlで1200円**の**ウーロン**茶を発売しました。

力強く花のように香る余韻が特徴。少し温めると香り立ちが良くなるという。

茶葉の内容は以下の通り。

"四大岩茶" (*) のなかでも、特に"茶王"と称される「大紅袍」は、古くから献上品として皇帝しか飲むことが許されなかったと言われている逸品で、極めて希少価値の高い烏龍茶です。「岩韻」と呼ばれる、岩のように力強く、花のように香る余韻が特長です。この「大紅袍」の茶葉を100%使用しているそうです。

*四大岩茶とは

全て中国福建省の武夷山で栽培されている岩茶で「大紅袍（だいこうほう）」「鉄羅漢（てつらんかん）」「水金亀（すいきんぎ）」「白鷄冠（はっけいかん）」と種類があります。

どんな味がするのでしょうか？一度試してみたいと思います。それにしてもサントリーは面白いことをします。たぶんこの商品が大ヒットすることはないでしょう。しかし、「ウーロン茶はサントリー」というのを消費者に深く根付かせることと、通常のウーロン茶の売り上げに貢献するのは間違いなさそうですね。

■コラム

■今年もやって来ました。横浜中田市長

編集部 M

今回また当社のM君が横浜中田市長の講演を聞きに行きました。早速レポートしてもらいます。

さる、10月6日中田宏 現横浜市長による講演がありました。主催は「万縁の会・西湘支部」です。ちなみに万縁の会とは1997年発足で中田市長が衆議院議員の時、会員総数は約1400名。支部はここ西湘地区、栃木、広島、島根、福岡、千葉、佐世保の7つの支部があるそうです。

今回は講演後に中田市長を取り囲んでの食事会があり、食事会では市長が各テーブルを回り、おのこのコミュニケーションを図るという段取りで行われました。我々のテーブルの時はラジオの出演の話や太らないために筋力トレーニングをしているなどより身近な話を聞くことができました。

さて今回の講演内容ですが以下の3つについての内容でした。

- ・「万縁の会」って？
- ・政治家を目指した理由
- ・最近あった面白い話し

順を追ってレポートしていきます。



・万縁の会とは？

「政治ってものすごくお金がかかるんです。ちなみに昨年の横浜市長選挙でも2000万円ぐらいかかっているんです。そのほかに事務所費用、人件費等々でどんなに小さい事務所でも最低1000万以上の費用が政治活動ではかかるんです。」

そこで、ほとんどの政治家が陥るのが、企業献金や資産家などによる大口献金なのです。そして行き着く先は、資金提供者との癒着です。政治家汚職のほとんどは、この構図から発生していて、過去にもリクルート事件、佐川事件、ロッキードその他多くの政治と金の問題が発生しています。そして今でもこの問題は政治家につきまとい続けているのは周知の通りです。

そこで今までの献金の仕組みを改めようということで、個人献金を中心に広く薄くとチャレンジしたのが、支援者の人達と立ち上げたのが「万円の会」なのです。「この会は一人1万円に限る、それ以上はダメです。」というふうに支援者の皆さんと取り決めをして、それをコツコツやっていたら賛同者が広がっていくのではないかという考えで始めたそうです。

ちなみに「万円の会」ではお金のイメージが強すぎるということで現在は「万縁の会」になっています。

中田市長の政治活動が大口献金者などによって足を引っ張られないで、市民の為国民の為の政策決定をしていくフリーハンドを持てる政治家になるということが一番こだわっているところなので、引き続き「万縁の会」を命綱として考えているとのことでした。

・政治家を目指した理由！

ちょうど安倍首相が辞めたときだったので、開口一番！「やっぱり2代目は弱いなあ〜」、「国際的な信用失墜は歪めない」と鋭いコメント。

「私は政治家の息子ではなく普通のサラリーマンの息子です。」つまり2世議員とは違います。ではなぜ政治家になろうと思ったか？子供の頃父親がニュースや新聞を見てぶつぶつ文句言っているのを見て不思議に思ったそうです。「世の中に不満があるのなら、それを声にしていけばいいのに。」と思ったそうです。そして成長していくにしたがって、父親と同じような人がたくさんいることに気づいていきます。そのような世の中の大人の姿を見て、「私は世の中に物を言う人間」になろうと思ったそうです。世の中に物を言い、それを実現させるには政治家になるしかないのです。

大学時代にはその気持ちますます強くなっていきます。大学卒業後、松下政経塾の門をたたくことになります。その後、細川（元首相）との出会いから日本新党結成に参画し、議員秘書を経て28歳という若さで旧神奈川一区より衆議院議員初当選を果たしました。

そして、当選した翌日から毎日駅前で街頭演説を2時間1日も休まずに、横浜市長になる前日まで9年間毎日行ったそうです。毎晩夜の遅くまで仕事をこなし、翌朝は必ず7時には駅に立っていたので多くの秘書達は「冗談じゃない」と言ってやめていきました。その中で共鳴をうけた秘書だけが今残り、中田事務所の結束は固くなっていったそうです。「毎日、毎週、毎月、毎年」これが政治家の始まりの原点

です。

衆議院議員になって行ったこと。毎日の街頭演説、毎週の電話での国政報告の発信。毎月の広報と国会活動報告書を発行。国会活動報告書とは、私はこの一年間どの法案に賛成したか、反対したか、その理由は何かを一覧表にまとめたものです。こんなことをやっている国会議員はその当時一人もいませんでした。今では多くの議員が行っています。「僕がやったことによって、多くの人達が、やっぱり政治って大切だなと思ってくれて、そういう人達の中からこれからの日本を引っ張ってくれる人が育つ」こんな風に思って、市長として政治家として職務をまっとうしていこうと考えているそうです。

・最近あった面白い話し

それは「中田市長殺すぞ!!」という殺人予告。

中田を殺してやると脅迫していた男がいて、逮捕してみたら横浜市の水道局の職員だったのです。理由を聞くと「お前のせいで水道局員の職員が少なくなり多く働かされるようになった」ということだそうです。犯人は「お前を殺して俺は割腹自殺する」と脅迫電話を何度もしていたそうです。そして犯人逮捕の翌日に新聞の市長のコメントが「被害者である中田宏市長は市の職員が不祥事を起こし申し訳ないと謝罪した。」となったわけです。被害者があやまっている変なコメントです。

私も今回で9回目の出席となりました。いつもながら話を聞いていると、政治が身近になり興味が出てきます。そしてこの人なら何かやってくれそうな感じが伝わってくるのです。

前回のコメントにも出しましたが、是非、横浜市長の次は国政に出て、腐敗した国会運営を建て直してもらいたいなあ〜とってしまう私がいるのです。それにしても、今回は市長は相当お疲れモードだったみたいです。お体を大切にしてください。

■コラム

■見てきました!フェルメール

国立新美術館にて12/17まで



牛乳を注ぐ女

フェルメールは17世紀オランダ黄金時代を代表する画家です。

その代表作がの絵「牛乳を注ぐ女」です。

この作品はオランダの至宝と呼ばれ国外に持ち出されたことはほとんどありません。所蔵はアムステルダム美術館で、つまりそこまで行かないと見れなかったわけです。しかし、今回この美術館の改修工事によって、数カ国に貸し出されることになったのです。

実は今回を逃すと、おそらく日本で鑑賞することはないだろうとされています。

美術館で購入したカタログの解説文を載せておきます。

「牛乳を注ぐ女」は、最も賛美されているフェルメールの絵画のひとつです。窓辺に立つその女性は、頭をわずかに傾けて注意深く牛乳をつぼに注いでいます。差し込む光は、見る人の視線をおのずと牛乳の流れへ向けます。その流れを見て、実際にその音が聞こえるほど鮮明に描かれています。この部屋では、他には何の動きもありません。

この題材の単純さは、仕事で日焼けした手をした頑丈な体つきの女性によって強調されます。彼女は質素であるが、カラフルな服を着ています。緑のオーバースリーブの付いた黄色のボディス、赤と青のスカート。一般的なメイドの気品ある肖像画です。フェルメールがどのように現実を描写したかを知ることは魅了的です。彼は壁の穴、陰がかった爪の全体、ガラスの破片など実に細部にまで注意を払いました。

彼の異なる題材の描き方は絶妙です。細部を観察してみると、いたるところに鈍い光や時には輝やく小さなハイライトのあることが分かります。絵具が少々厚めな部分には、より多くの光が当たります。このことはパンを見るとよく分かります。小さな点々は、皮のパリパリした感じを連想させます。

美術館での解説も載せておきます。

ただ普通のキッチンの一場面をそのまま描いたのではこれだけの名作には成り得ません。そこには数多くのフェルメールの魔法がかけられています

一番有名なのは「テーブル」。四角形のテーブルだとすると形が変ですよ。作品の左上部の窓の部分よく見ると遠近法が使われています。解説によると、赤外線でのこの作品をみると、そこに遠近法を使った線が見えるそうです。

しかし、テーブルは遠近法が使われていないのです。でも違和感がない。これを無理に四角形のテーブルにするととっても絵のバランスが悪くなってしまいます。

それとやはり窓からの光。光を壁の明暗でこれだけ自由に自然に且つ正確に描ける事はやっぱりマジックです。

もうひとつ印象に残った作品を紹介します。ヤン・ステーンの「酔っ払った男と女」です。



実は私はこの作品が一番印象に残りました。

美術館の解説によると、ヤン・ステーンは”人間の醜さや愚かさ”を風刺を交えて描いているとのこと。

居酒屋で酔いつぶれている男と女の後ろに、コートを盗もうとしている居酒屋の女主人が描かれています。

右側の穴のあいた樽は”中身のない人間”を風刺しているそうです。また女を見つめている猫は”人間の色情”を現しているそうです。

酔っ払った男と女

いかにも、風俗画らしくその当時の人達の様子が見てとれ私個人としては大好きな作品です。

それと最後に、今回行った国立新美術館は先ごろ亡くなった黒川記章さんの設計だそうです。遺作となっていましたね。



外から



内から



この看板が目印!



このタレをつけて食べます。

今回のB級グルメは小田原です。

今回紹介するのは韓国のチヂミです。でもそこらにあるチヂミとは大違いです。厚さとボリューム感は相当のものです。

左の写真でもわかる通り厚さが厚いのが特徴です。

この厚さのためか、焼きあがるまで多少時間がかかります。

この店のチヂミは「海鮮チヂミ」と「普通のチヂミ」の2種類があります。

今回注文したのは「海鮮」のほうです。中の具材はえび・ほたて・いかがつっぷり入っています。

さて、味のほうですがこれがまた絶品です。ゆっくり焼き上げあるので全体的にふっくらしていて、外側の「サクサク」とした食感が何とも言えません。

もし興味がある方はどうぞ!

店名 「オセヨ」

場所 小田原印刷局通り沿い

■コラム

■アークルの人達ブログ・絶好調連載中です!

小田原H所長はB級グルメの後追いをしているようです。先日、スンドブを食べに渋谷まで行ったそうです。

旨さと値段の安さに感動だそうです。次のターゲットはヴィヤーベースとのこと。

食べ物の写真は是非当社HPよりご覧ください。より鮮明においしさが伝わると思います。

ただいまブログは8名が更新中です。

- ・ 所長のブログ (小田原H所長)
- ・ チーフの給湯室 (小田原Mチーフ)
- ・ 情報最前線 (海老名K所長)
- ・ 促進課目玉オヤヂ (販売促進課Hさん)
- ・ 促進課オヨヨ
- ・ 販促課オオクワ80mm
- ・ 産地直送!新鮮ネタ (海老名Nチーフ)
- ・ 古本おやじの独り言 (98キロの人面冷凍マグ)



ロ)

当社の敷地に1本の柿があります。
毎年おいしく食べています。
今年もたわわに柿がなりました。
(なんと200個以上の収穫が出来ました。)

今月は以上です。又、来月号も宜しくお願いします。

■2007年度のマンスリーNEWS		
➔	2007.10	アークル マンスリーNEWS
➔	2007.09	アークル マンスリーNEWS
➔	2007.08	アークル マンスリーNEWS
➔	2007.07	アークル マンスリーNEWS
➔	2007.06	アークル マンスリーNEWS
➔	2007.05	アークル マンスリーNEWS
➔	2007.04	アークル マンスリーNEWS
➔	2007.03	アークル マンスリーNEWS
➔	2007.02	アークル マンスリーNEWS
➔	2007.01	アークル マンスリーNEWS

■マンスリーNEWS アーカイブ		
➔	最新	マンスリーNEWS トップページ
➔	2006年度	2006年のマンスリーNEWS アーカイブ
➔	2005年度	2005年のマンスリーNEWS アーカイブ
➔	2004年度	2004年のマンスリーNEWS アーカイブ
➔	番外編	マンスリーレポート 番外編